

案件1 青葉区における取組

取組の進捗及び計画案について

青葉区における取組(前回の振り返り)

■取組の全体像

- 高頻度・高需要路線への連節バス導入や長距離路線のフィーダー化の実施などにより、運行効率化を行う
- 効率化で生み出された経営資源を再配分することにより、面的な**バスネットワークの維持・充実**を図る

【連節バスを導入する路線】

青61系統 青葉台駅～日体大

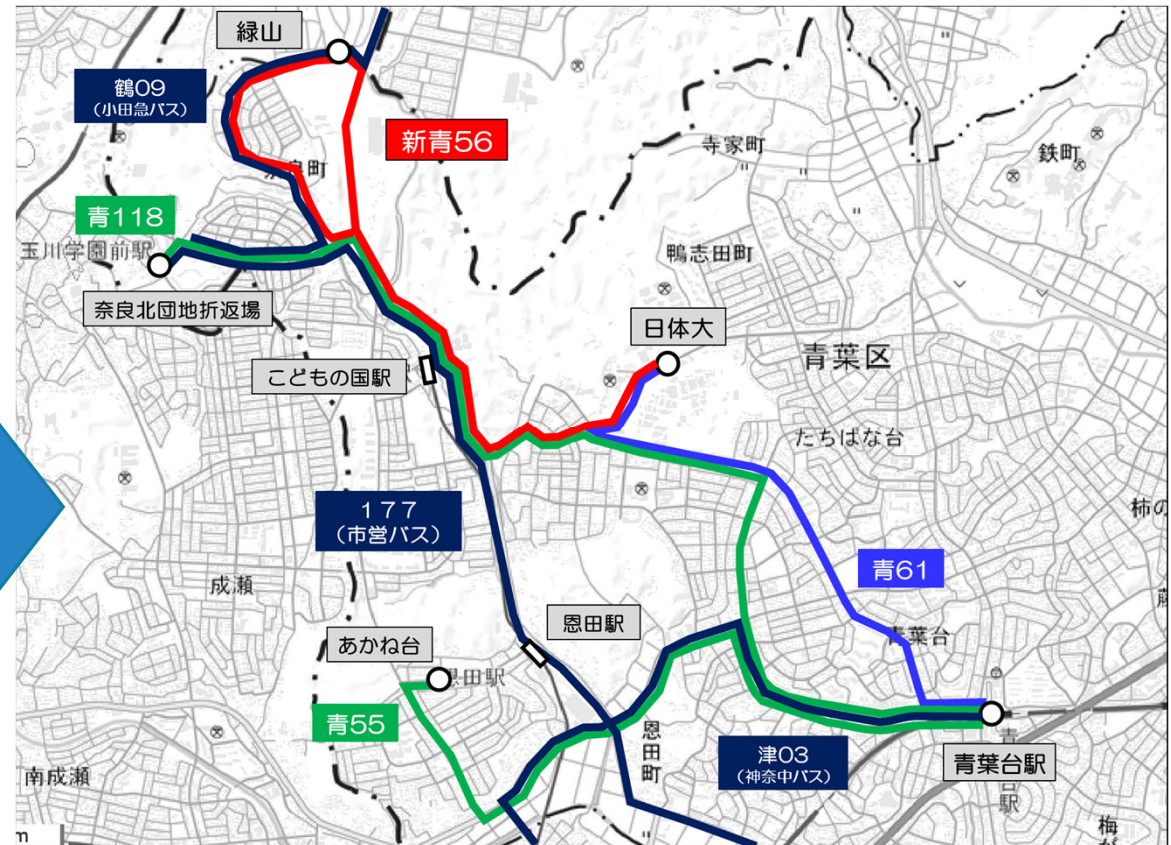
【長距離路線のフィーダー化】

青56系統 青葉台駅～緑山(循環)

【経営資源を再配分し、路線維持を行う路線】

青55系統 青葉台駅～あかね台

青118系統 青葉台駅～奈良北団地折返場



基本 の取組

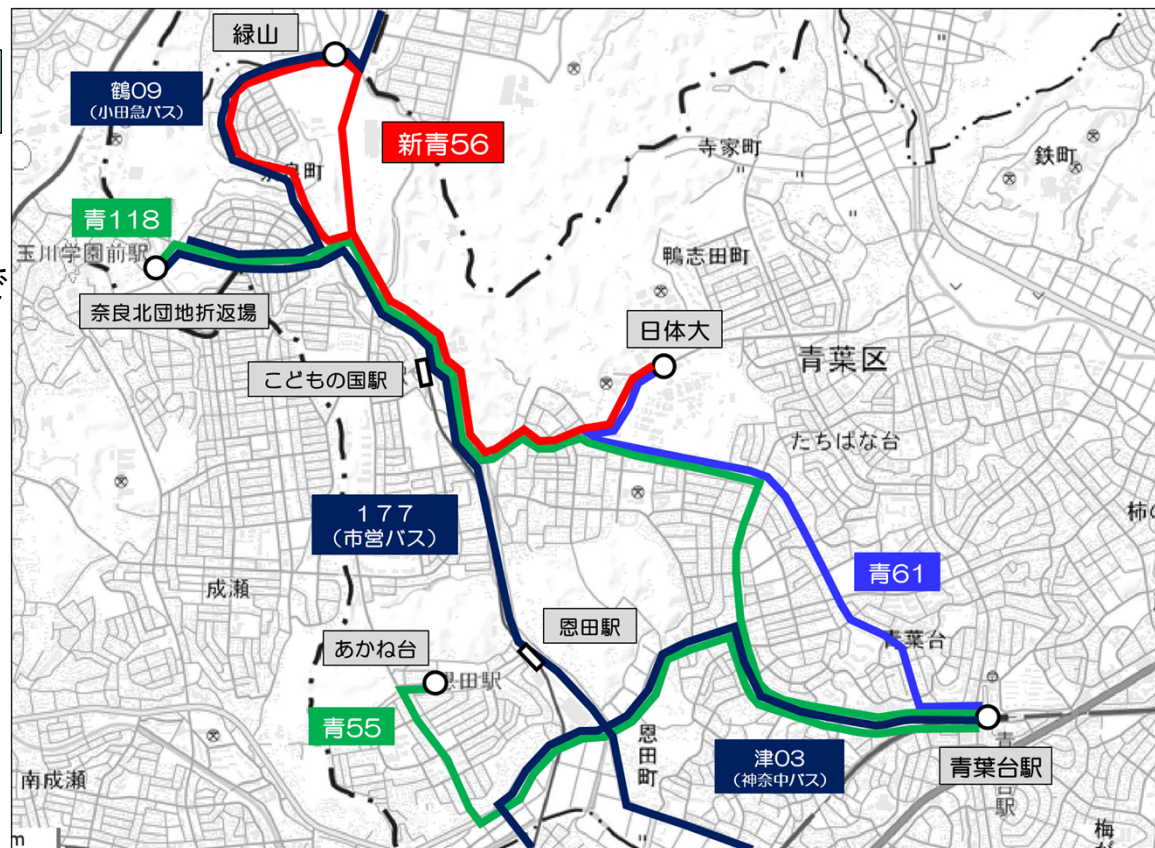
青61系統 連節バスの導入

【取組の概要】

- 連節バスを導入し、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で運行便数を減らすことで、事業者の経営資源を生み出す

【取組による効果・影響】

- 通勤通学時間帯における駅混雑の緩和
- 運行便数の減少(輸送力維持)



「青葉台駅⇔日体大」の運行間隔(目安)

※最小・最大の運行間隔を記載

	取組前	取組後
朝	4～5分間隔	5～7分間隔
昼	4～7分間隔	5～8分間隔
夕	5～8分間隔	5～9分間隔

【駅混雑の様子(青葉台駅)】



取組

1 青56系統 乗継を伴う路線の維持

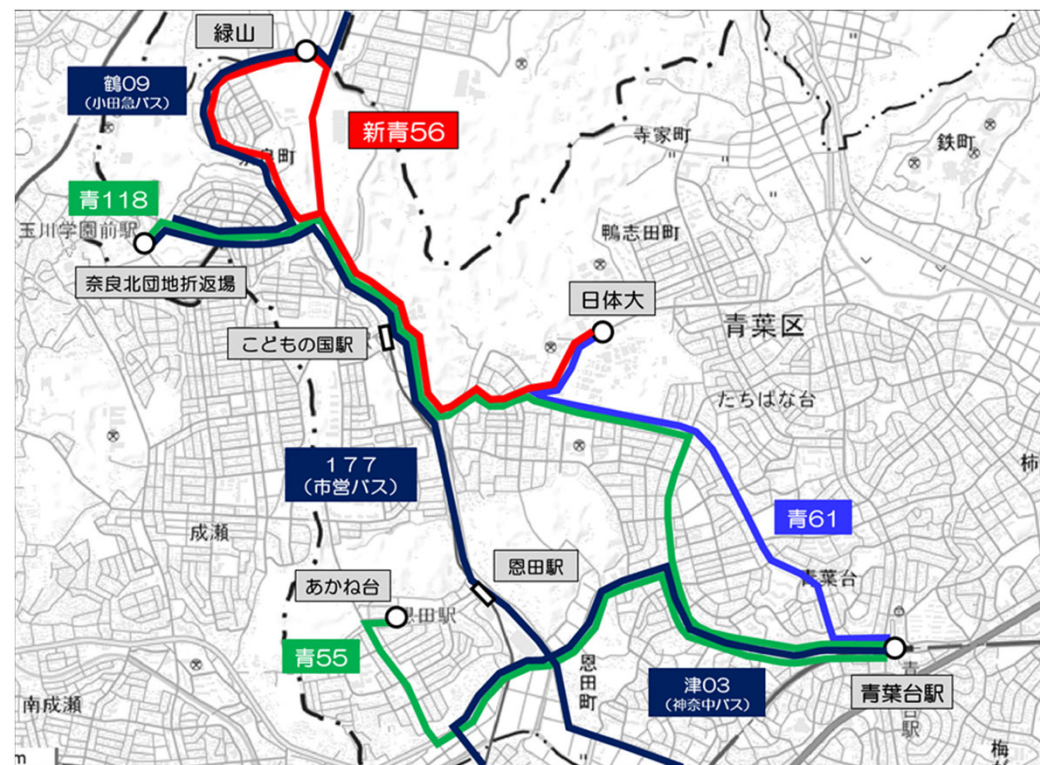
【取組の概要】

- 起点を青葉台駅から日体大に変更し、運行を効率化

【取組による効果・影響】

- 路線短絡化により**増便し、運行間隔を均等化**
- 青葉台駅までは日体大での乗継を伴うが、乗継負担を軽減する取組を併せて実施

青56系統の運行間隔(目安)	
※取組後は新青56系統の運行間隔を記載	
取組前	取組後
約1～4時間間隔(13便)	約40～60分間隔(20～25便)
新青56系統の所要時間(青葉台駅～緑山まで)	
取組前	取組後
約28分	約28分+乗継時間



【乗継負担を軽減する取組】

- 日体大が**バリアフリー対応の待合施設を整備予定**
- 乗継において、**新たな運賃負担は生じない予定(ICカード利用に限る)**
- 乗継時間が最低限となるような**運行ダイヤの工夫を行う予定**

青葉区における取組(前回の振り返り)

■青56系統の再編について

- 青56系統の短絡化に関して、乗継の負担感を懸念する声もいただいているアンケートでは2案を提示し、青56系統の再編内容に関する意見も募集する

【案A】



運行ルート 日体大～緑山(循環)
運行本数 20～25便程度
(間隔 約40～60分程度)

【案B】



運行ルート ①青葉台駅～緑山(循環)
②日体大～緑山(循環)
運行本数 ①2便程度(朝夕1本ずつ程度)
②15～20便(間隔 約40分～2時間40分)

取組 2

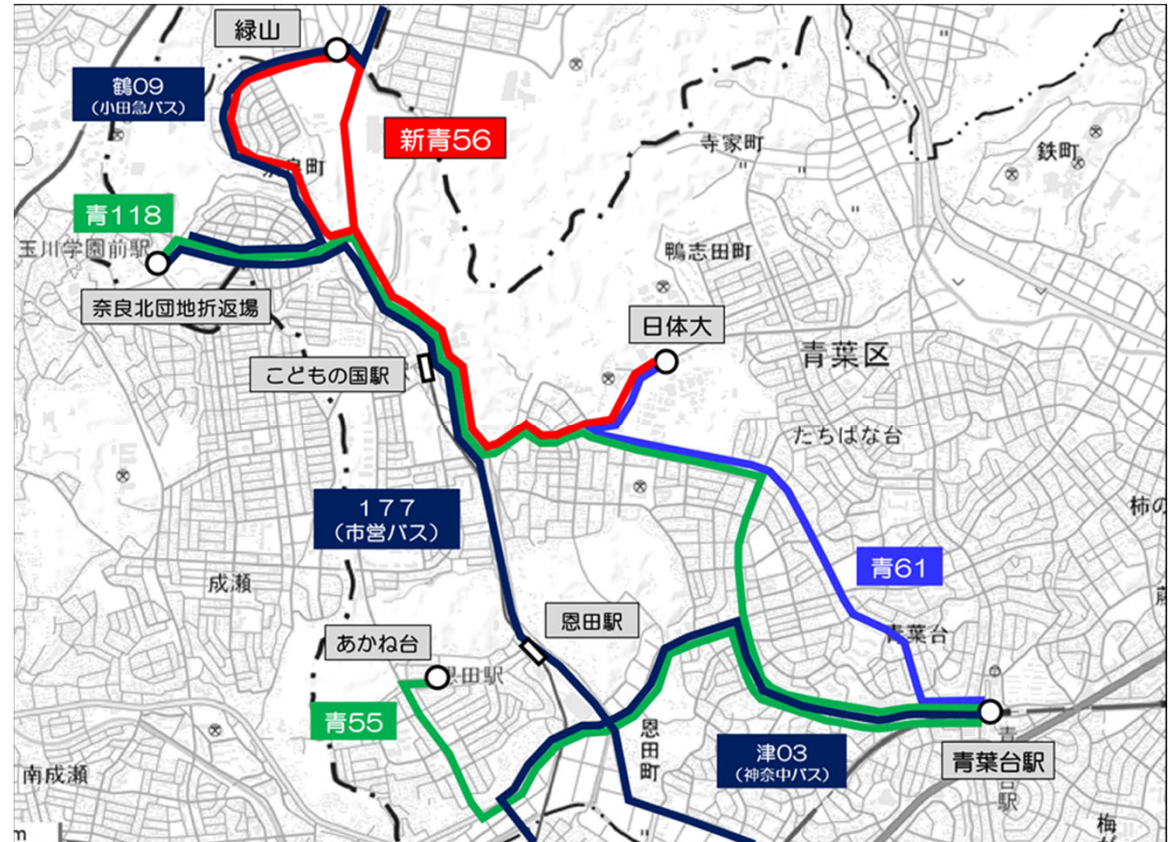
北西部周辺路線(青55,青118)路線の維持

【取組の概要】

- 連節バス導入により生み出された経営資源により運行本数を維持

【取組による効果・影響】

- 利用者減少や乗務員不足により減便等が検討される路線を維持



■意見募集の実施概要

【目的】

- 本取組の概要について地域の皆様やバス利用者等に広報し、その内容を知っていただく
- 地域の代表者だけでなく、若年層や中年層を含む
広くバスを利用されている方からも、本取組についてご意見を伺う

【募集期間】

- 令和4年12月3日から令和5年1月31日まで

【配布・広報】

- 5連合(奈良、恩田、青葉台、中里北部、奈良北団地)の自治会のうち、対象バス路線沿線の自治会に各戸配布または回覧(14,829通配布)
- 地区センター、ケアプラザ、郵便局などへ配架
- 広報：東急バス車内ポスター掲示、市道路局ウェブサイト掲載

【回答方法】

- 横浜市道路局ウェブサイトのアンケートフォーム
- アンケート用紙の郵送、ファクス、Eメール、直接持参

青葉区北西部で
バス路線を維持していくための取組について
ご意見をお聞かせください


横浜市と東急バス株式会社(以下「東急バス」)は、青葉区北西部におけるバス路線の維持に向けた取組を進めており、運賃バス導入による主要バス路線の運行効率化と、それにより生じた経営資源をその他の路線へ再配分し、**エリア全体のバスネットワークを維持する取組**を検討しています。2、3ページに取組の概要を記載していますので、この取組の実施を想定してご意見をお寄せください。

募集期間・回答方法・お問合せ先

募集期間 令和4年12月3日(土)から令和5年1月31日(火)まで(当日必着)

回答方法 次の①または②の方法によりご意見をお寄せください。
可能な限り①ウェブサイトからの回答のご協力をお願いします。

①下記ウェブサイトのアンケートフォームからご回答ください。
バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業(青葉区北西部) ウェブサイト：
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/bus_kotsu/soukou/aoba.html
右の二次元バーコードを読み取ることで、ウェブサイトへアクセスいただくこともできます。



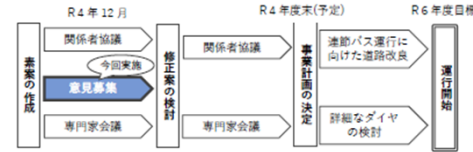
②4ページの記入用紙にご記入いただき、下記の「ご提出先」まで、郵送、ファクス、Eメール、直接ご持参にて、記入用紙をご提出ください。(記入用紙はコピーでも構いません。また、上記ウェブサイトからダウンロードもできます。)

<p>ご提出先1 お問合せ先</p> <p>横浜市道路局企画課(交通計画班) 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 電話：045-671-3800 ファクス：045-651-6527 Eメール：do-koutsuu@city.yokohama.jp</p>	<p>ご提出先2 持参のみ</p> <p>横浜市青葉区政推進課(区役所4F73番窓口) 〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町31番地4 電話：045-978-2217</p>
--	--

ご提出先3 持参のみ ※下記施設には紙のアンケート用紙の配架もご用意。ご活用ください。
下記施設にもアンケート回収ボックスを設置しております。
・青葉台駅PRボックス ・田奈駅PRボックス ・青葉台郵便局 ・鶴志田郵便局 ・青葉区区民交流センター
・奈良地区センター ・奈良地域ケアプラザ ・恩田地域ケアプラザ ・青葉台地域ケアプラザ
・若草台地区センター ・鶴志田地域ケアプラザ

取組スケジュール・意見募集の位置づけ

現在、東急バスが作成した案案について、関係者協議や専門家会議でご意見を伺っており、並行して、この意見募集により広くご意見を伺うものです。

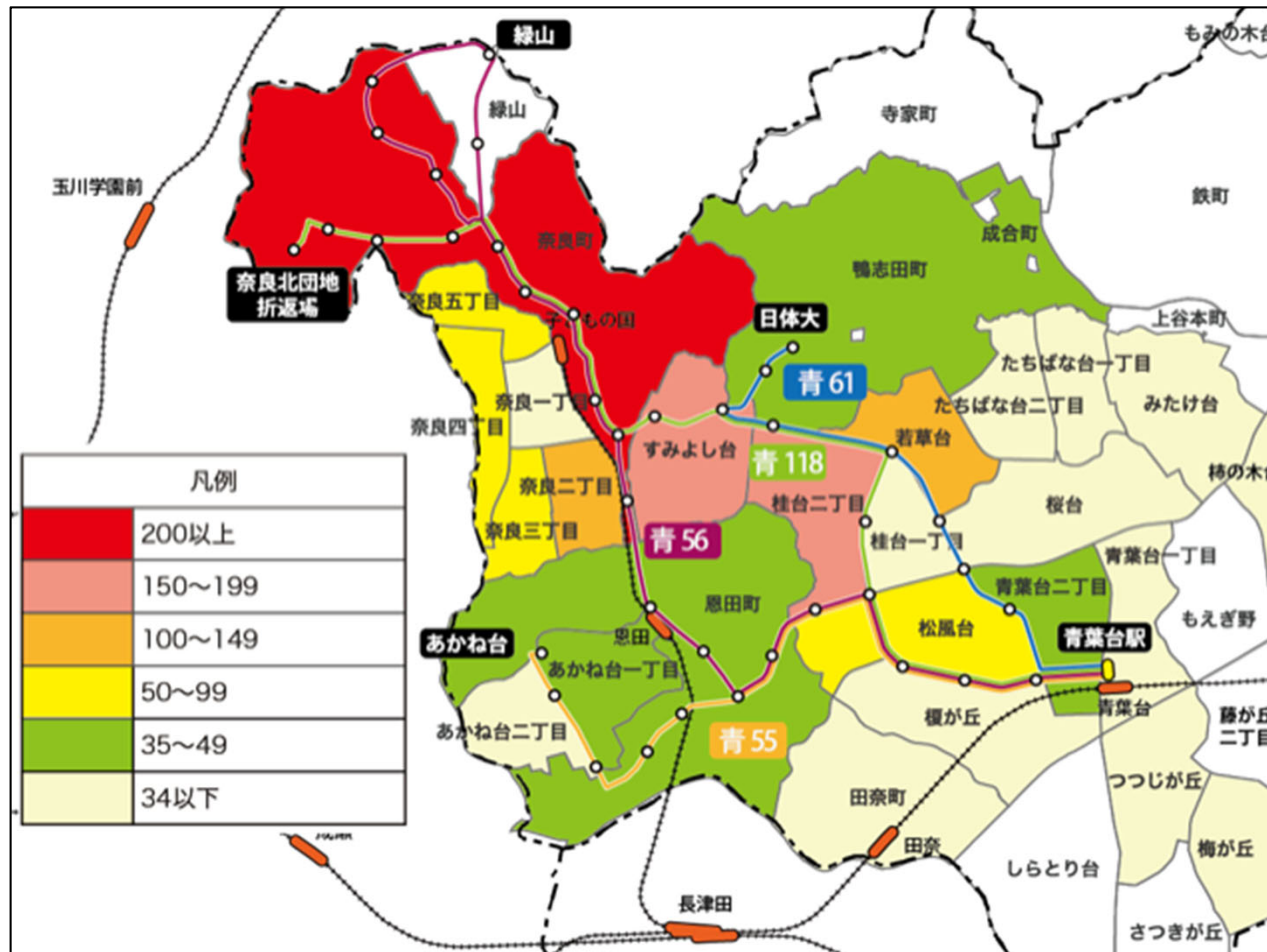


アンケート用紙 表紙

青葉区における取組(意見募集の結果)

■ 回答状況

- 回答件数:2,108件 (Web:1,475件(70.0%) 紙:633件(30.0%))
- 町丁目別回答数:青56系統再編の影響がある奈良町の回答数が630件と多い



町丁目	回収数
奈良町	630
すみよし台	196
桂台二丁目	154
若草台	133
奈良二丁目	129
松風台	88
奈良四丁目	65
奈良三丁目	58
奈良五丁目	56
恩田町	47
あかね台一丁目	40
青葉台二丁目	40
鴨志田町	36
その他 (30件未満の町丁目)	229
青葉区外	85
不明	122
計	2,108

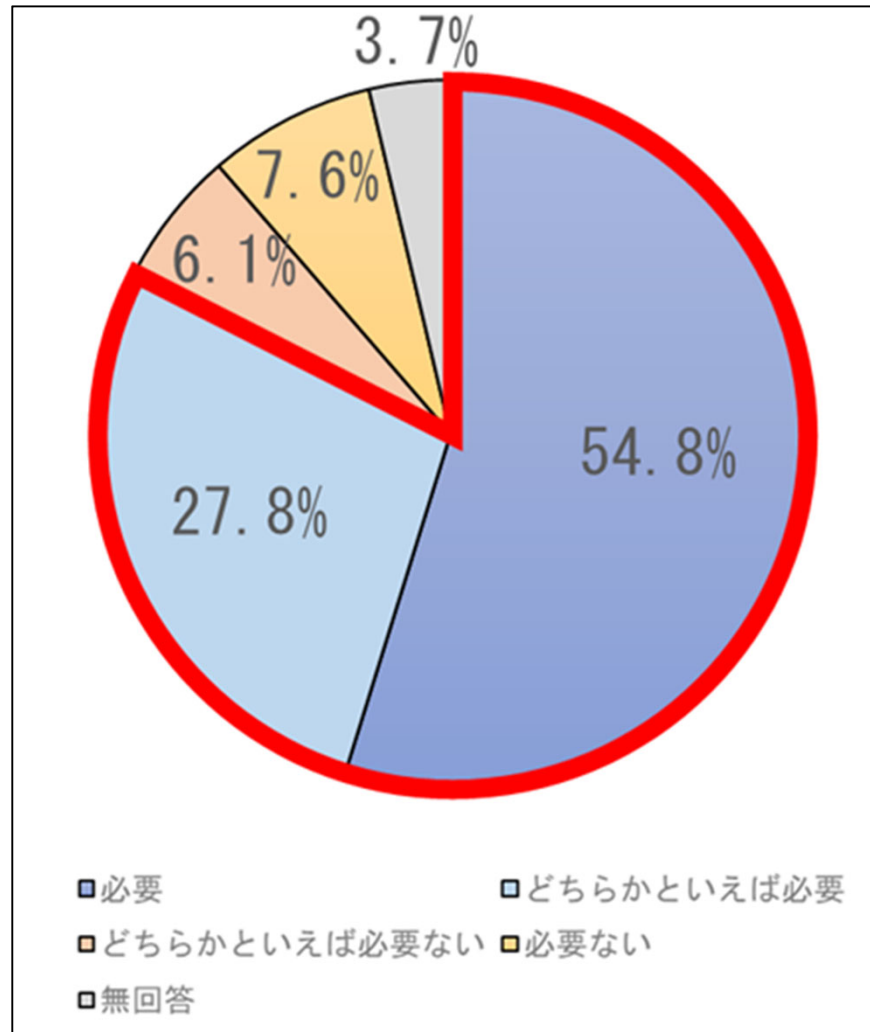
※回答が30件以上の町丁目を記載

青葉区における取組(意見募集の結果)

■ バス路線を維持していくための取組の必要性

- 取組が「必要」もしくは「どちらかといえば必要」を合わせると82.6%

→ 取組の必要性を感じている方の割合が高い

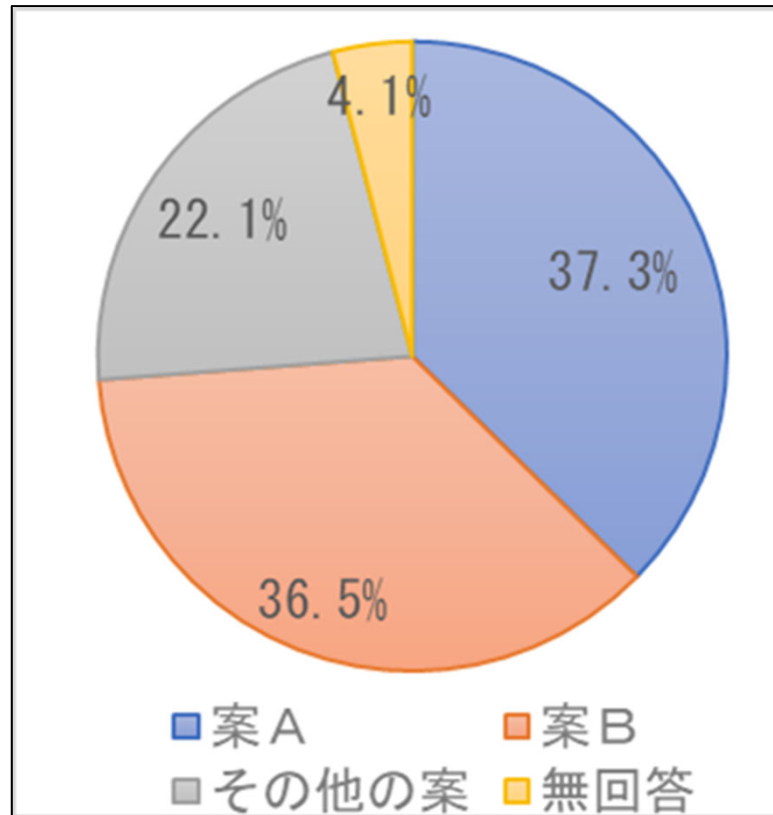


取組の必要性について(回答数2,108件)

青葉区における取組(意見募集の結果)

■青56系統の再編案

- 再編案について、意見が拮抗している



青56系統の再編案について(回答数2,108件)

現行



案A



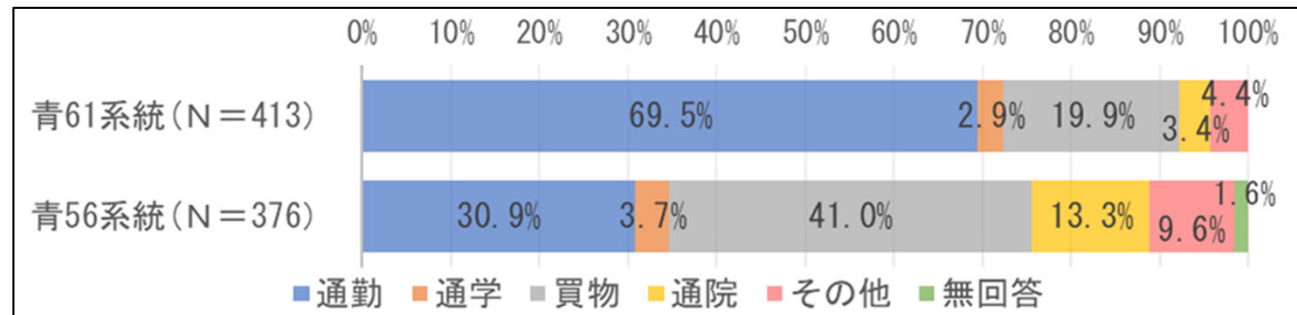
案B



青葉区における取組(意見募集の結果)

■路線再編に関わるバス利用者の移動目的

- 青61系統利用者 → 約7割が通勤目的で利用している
- 青56系統利用者 → 目的は分散しているが、約4割が買物目的で利用している



バス利用者の移動目的(系統別)

■主な自由意見

- 路線維持と乗務員確保のためならば、変更はやむを得ない
- バス事業者が一方的に決定するのではなく、住民にアンケートを行ったことを評価したい
- 日体大で乗り継ぐ際、日体大の学生より優先的に乗車できるようにしてほしい
- こどもの国駅の西側にスーパーがあるので、スーパー付近を経由するルートに変更してほしい
- 案Bは青葉台駅までの直通便の本数が2便しかないが、もう少し増やしてほしい
- 「青葉台駅～奈良北団地行き」を玉川学園台経由にほしい
- 連節バスが走ることで、安全面の確保や渋滞が生じないか心配
- 高齢者の負担(乗換や運賃など)が増えるのではないか

■今後の進め方

- 「バス路線を維持していくための取組」について、多くの方にご理解いただいている

→青61系統への連節バス導入の準備を進める

- 青56系統再編案について、意見が拮抗している

青56系統は、「買物」を利用目的としてご利用いただいている方が多い

「こどもの国駅の西側にスーパーがあるので、スーパー付近を経由するルートに変更してほしい。」といった意見もある

→意見募集の結果を踏まえ、運行計画を検討します

青葉区における取組(走行環境整備について)

■連節バス導入に伴う走行環境の整備について

- 青61系統(青葉台駅～日体大)が運行するルートは、片側1車線の道路
⇒連節バスが安全に走行するために、走行環境の整備(バスベ이의整備等)を実施



青葉区における取組(走行環境整備について)

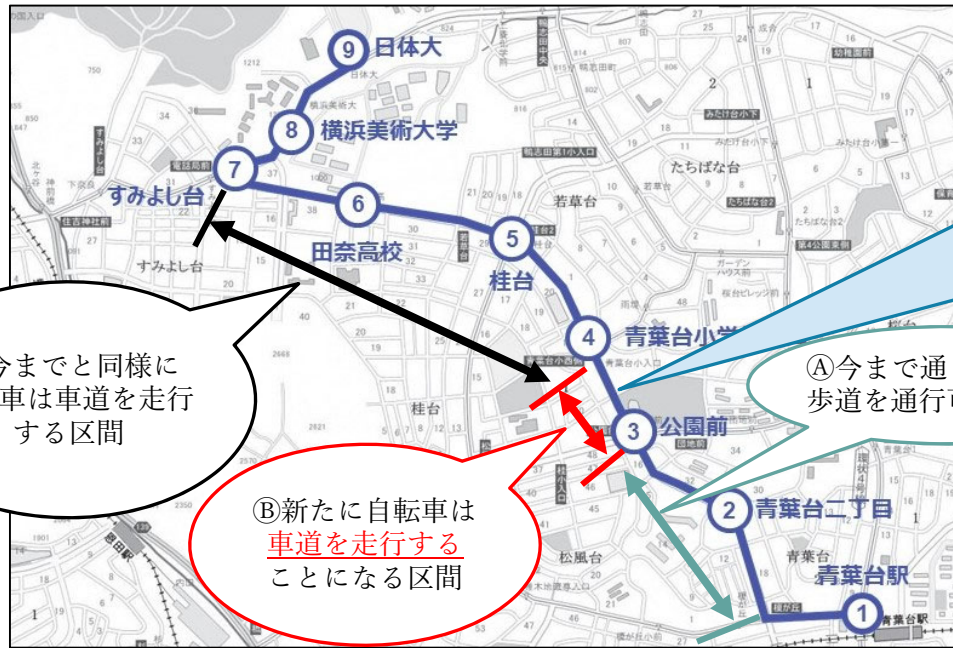
■連節バス導入に伴う走行環境の整備について

- 青61系統(青葉台駅～日体大)が運行するルートは、片側1車線の道路
⇒連節バスが安全に走行するために、走行環境の整備(バスベいの整備等)を実施



青葉区における取組(自転車通行環境について)

■自転車通行環境の変更について(整備範囲が変更となりました) バスベイ設置にあわせて、自転車走行環境の整備を実施



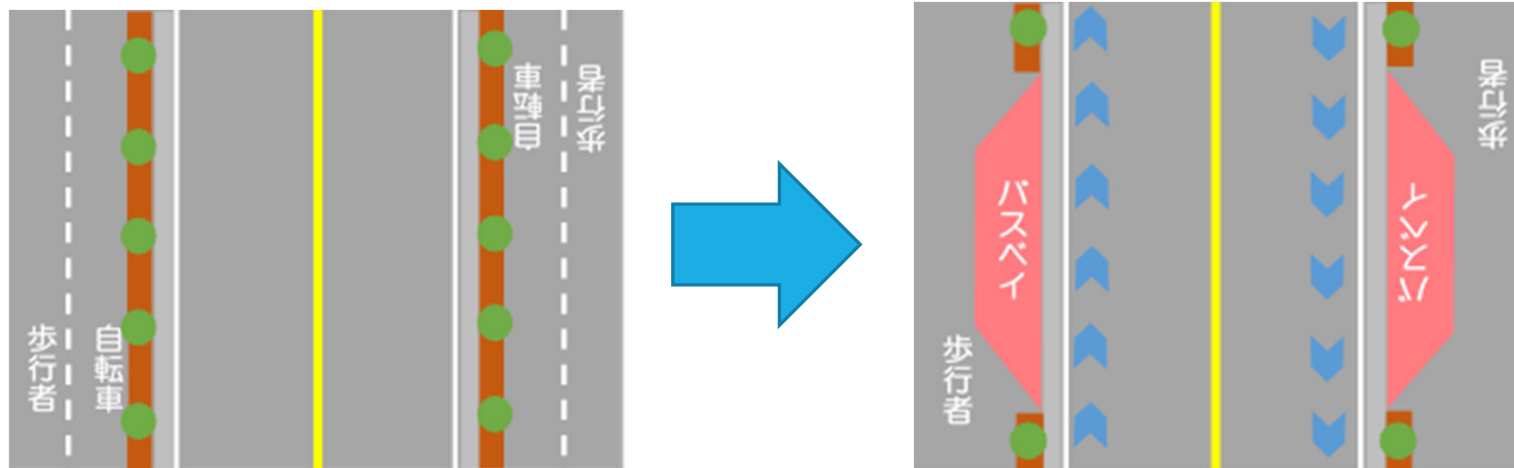
◎今までと同様に
自転車は車道を走行
する区間

㊸新たに自転車は
車道を走行する
ことになる区間

㊶今まで通り自転車は
歩道を通り可能な区間

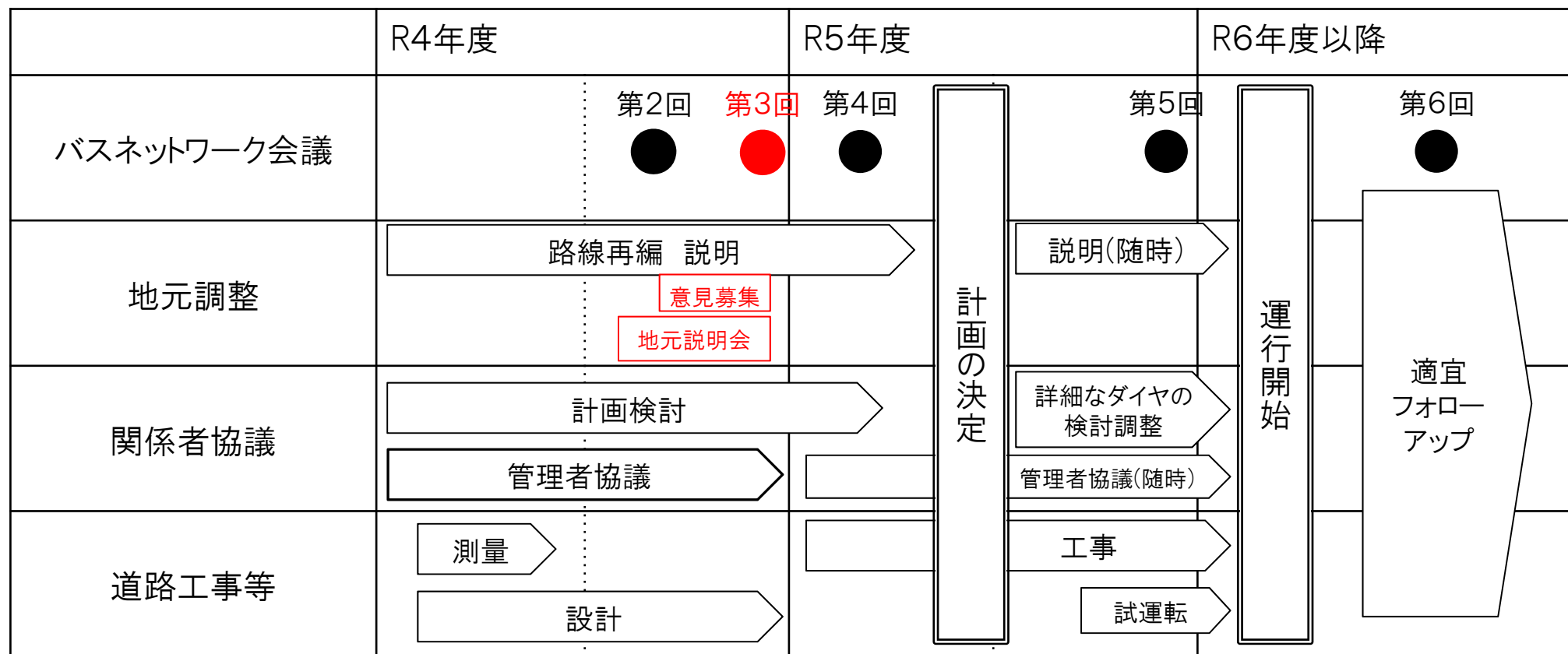


【整備前後のイメージ】



青葉区における取組(今後のスケジュールについて)

■今後のスケジュール(予定) ※現時点での予定であり、関係者協議等の進捗により適宜変更する

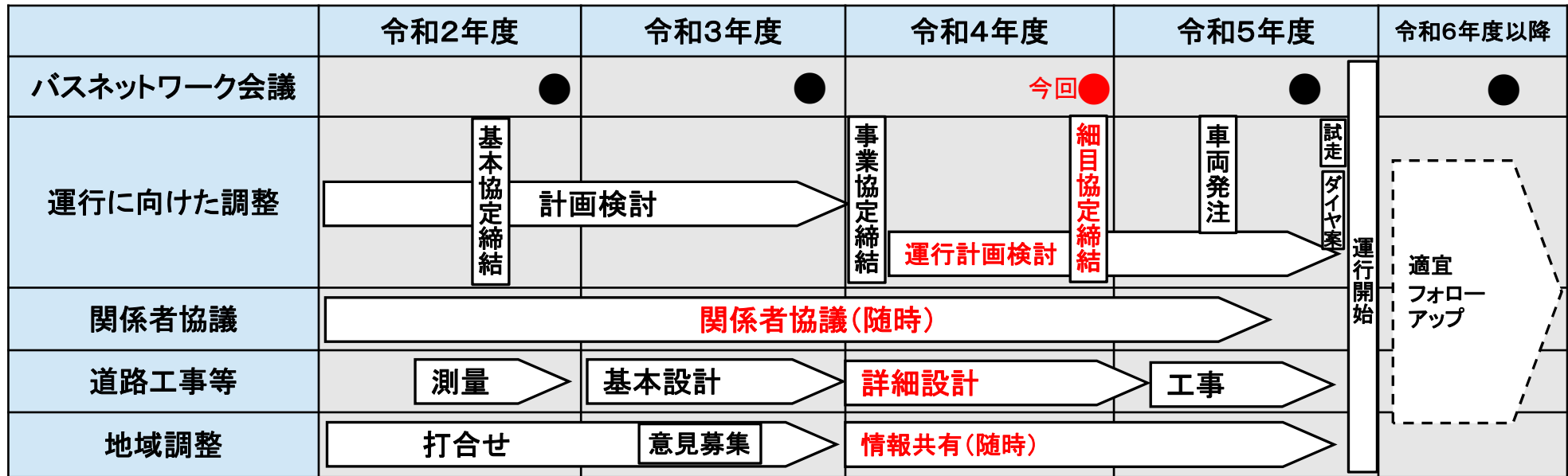


案件2 戸塚区における取組

令和4年度の事業進捗と今後の進め方について

- ①これまでの振り返り
- ②令和4年度の事業進捗
- ③今後の進め方

①これまでの振り返り



■ 令和4年度の取組内容

○ 運行に向けた調整

→ 連節バスへの乗降(支払い)方法や車種、乗継割引の内容について決定

○ 関係者協議・道路工事等

→ 令和3年度に引き続き関係者協議を実施。関係者協議が整った内容で詳細設計を実施

○ 地域調整

→ 地域への広報・定期的な情報共有。令和4年度は、駅寄りの沿線地域も含めて広報を実施

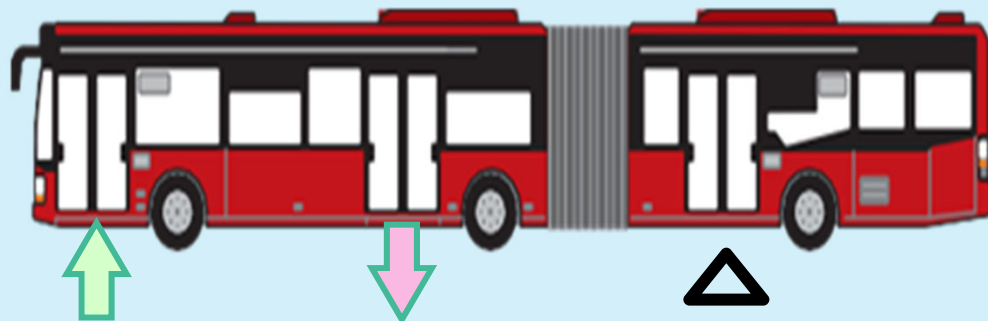
②令和4年度の進捗

【運行に向けた調整 ～バスの乗降・支払い方法等～】

戸塚バスセンター行き

申告先払い方式

- ・前ドアから乗車し、中ドアから降車
- ・戸塚駅のみ、全てのドアから降車可能
- ・乗車時に運賃を支払う(運転士に行先を伝える)



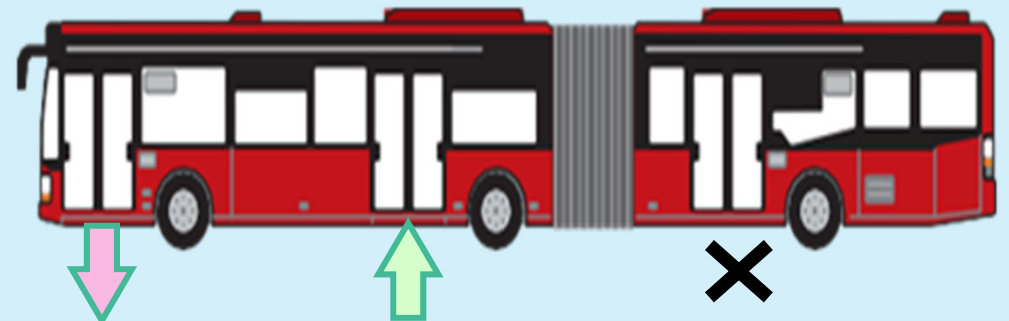
前ドア 乗車 (戸塚駅では降車も可)
中ドア 降車
後ろドア 戸塚駅のみ降車可

ドリームハイツ行き

後払い方式

※現在運行しているバスと同じ方式

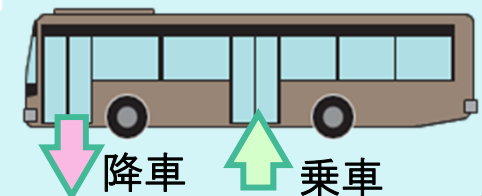
- ・中ドアから乗車し、前ドアから降車
- ・後ろドアでの乗降はなし
- ・降車時に運賃を支払う
(乗車時にICカードタッチ(現金の場合は、整理券をとる))



前ドア 降車
中ドア 乗車
後ろドア 乗降不可(開きません)

※導入車種:「日野ブルーリボン ハイブリット連節バス」を6両導入。

※大型バスは、上り方面、下り方面ともに、これまでと同じ「後払い方式」です。



②令和4年度の進捗

【運行に向けた調整 ～乗継割引のイメージについて～】

「俣野公園・横浜薬大前」において、バスを乗り継いだ利用者の、初乗り運賃額(大人178円)を割り引きます。
 ※1時間以内の乗継・ICカードでの運賃支払に限ります。



【区間別割引後運賃】

■	178円 ⇒ 無料	■	199円 ⇒ 21円
■	210円 ⇒ 32円	■	231円 ⇒ 53円
■	242円 ⇒ 64円	■	284円 ⇒ 106円

※俣野公園・横浜薬大前で乗り継いだ場合の、俣野公園・横浜薬大前からの運賃です。
 ※令和5年3月時点の運賃で標記しています。
 ※小児運賃は令和5年4月1日より、IC運賃一律50円を開始するため、乗継割引の適用はありません。

【俣野公園・横浜薬大前から出ている路線】

- ドリームハイツ 行き
- 戸塚バスセンター 行き
- 立場ターミナル 行き
- 上飯田車庫 行き
- 湘南台駅東口 行き
- 藤沢駅北口 行き
- 大船駅西口 行き

②令和4年度の進捗

【運行に向けた調整 ～乗継割引のイメージについて～】

「俣野公園・横浜薬大前」において、バスを乗り継いだ利用者の、初乗り運賃額(大人178円)を割り引きます。
 ※1時間以内の乗継・ICカードでの運賃支払に限ります。



【例①】
 西横浜国際総合病院前
 ↓ 210円
 俣野公園・横浜薬大前
 ↓ 231円⇒**53円**
 下飯田駅
【合計】441円⇒263円

【例①(電車利用時)】
 西横浜国際総合病院前
 ↓ 210円
 戸塚駅
 ↓ 242円(地下鉄)
 下飯田駅
【合計】452円

【例②】
 汲沢入口
 ↓ 199円
 俣野公園・横浜薬大前
 ↓ 242円⇒**64円**
 戸塚駅
【合計】441円⇒263円

【例②(電車利用時)】
 汲沢入口
 ↓ 199円
 立場駅
 ↓ 242円(地下鉄)
 戸塚駅
【合計】441円

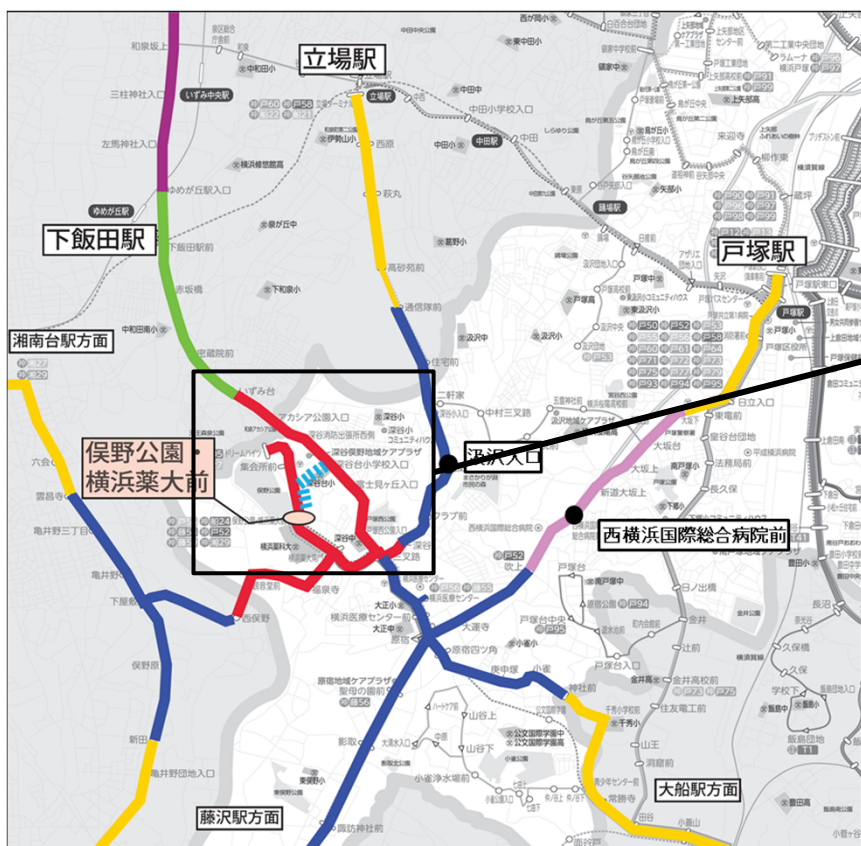
(注)令和5年3月時点の運賃を基に作成

②令和4年度の進捗

【運行に向けた調整 ～下飯田駅方面路線の運行経路について～】

増便を行う下飯田方面路線は、現在の運行経路(右図**赤線**)に加えて、定時性の確保を目的に、右図**水色点線の経路**での運行が可能な検討中。

※試走やダイヤ検討を行うなかで、実現性について検討しています。



- 現在の運行経路(増便後も継続)
- 増便分の運行経路(案)

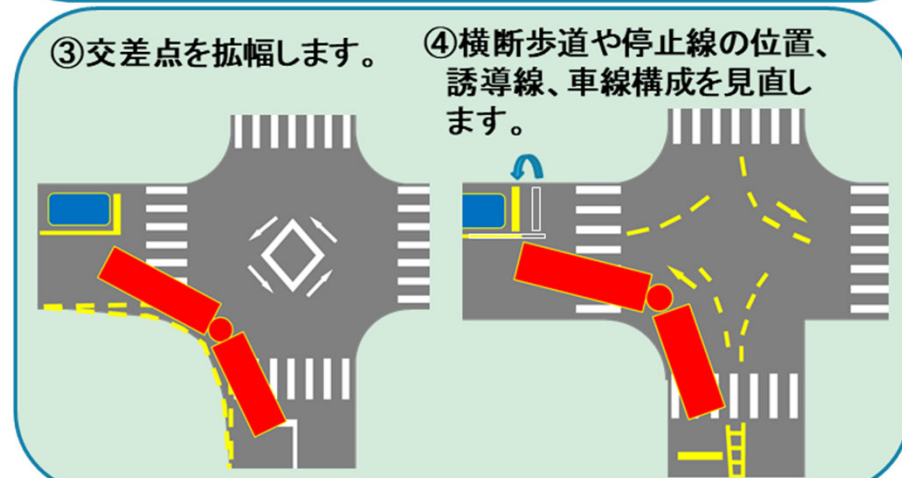
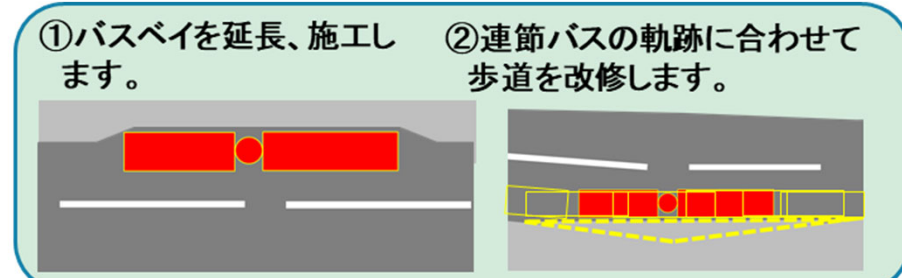
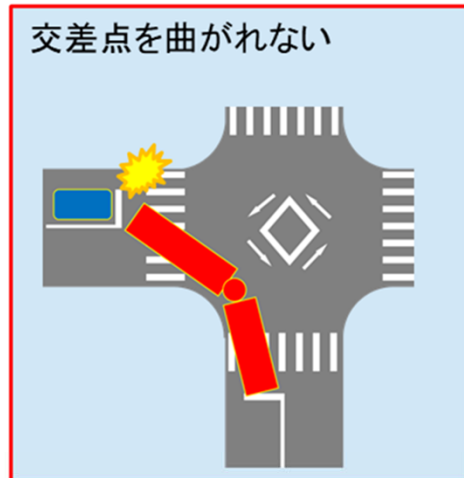
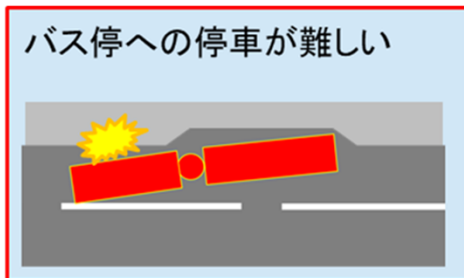
②令和4年度の進捗

【道路工事・関係者協議】

■工事内容

- ・バスベイの新設、延長、改修 ・交差点の拡幅
- ・停止線、誘導線、車線構成の見直し ・横断歩道移設 ・バス停等の移設

主な工事箇所



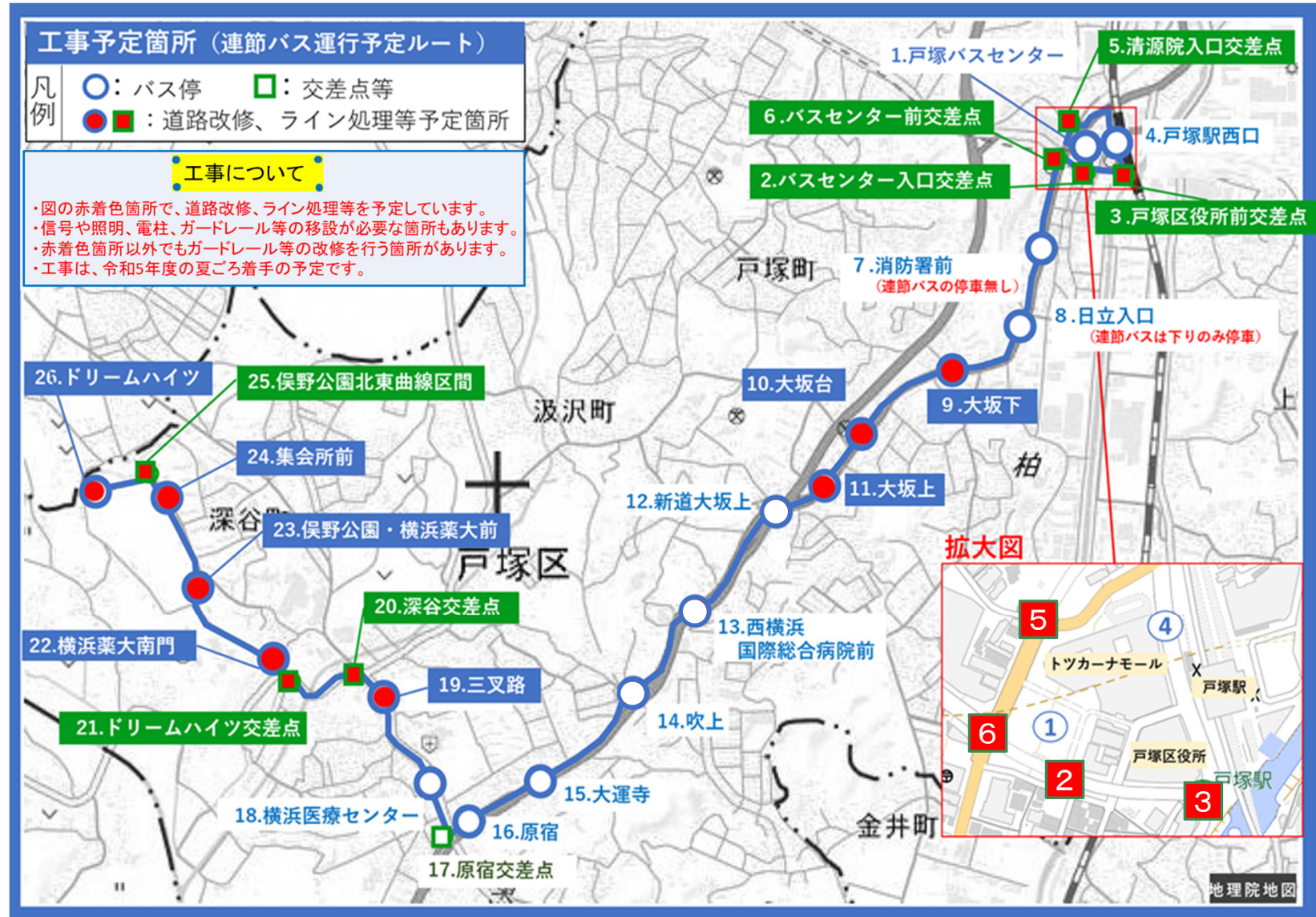
工事イメージ

※整備イメージ図になります。特定の箇所を示した図ではありません。

②令和4年度の進捗

【道路工事・関係者協議】

■工事予定箇所



※国道範囲の、西横浜国際総合病院前バス停の移設やバスベイの施工については、事業スケジュールを勘案し、環状3号線、戸塚IC事業の中で検討

②令和4年度の進捗

【地域調整】

令和3年度に実施した意見募集において、回答が少なかった駅寄りの沿線地域に、事業説明や広報等を拡大し、実施しました。

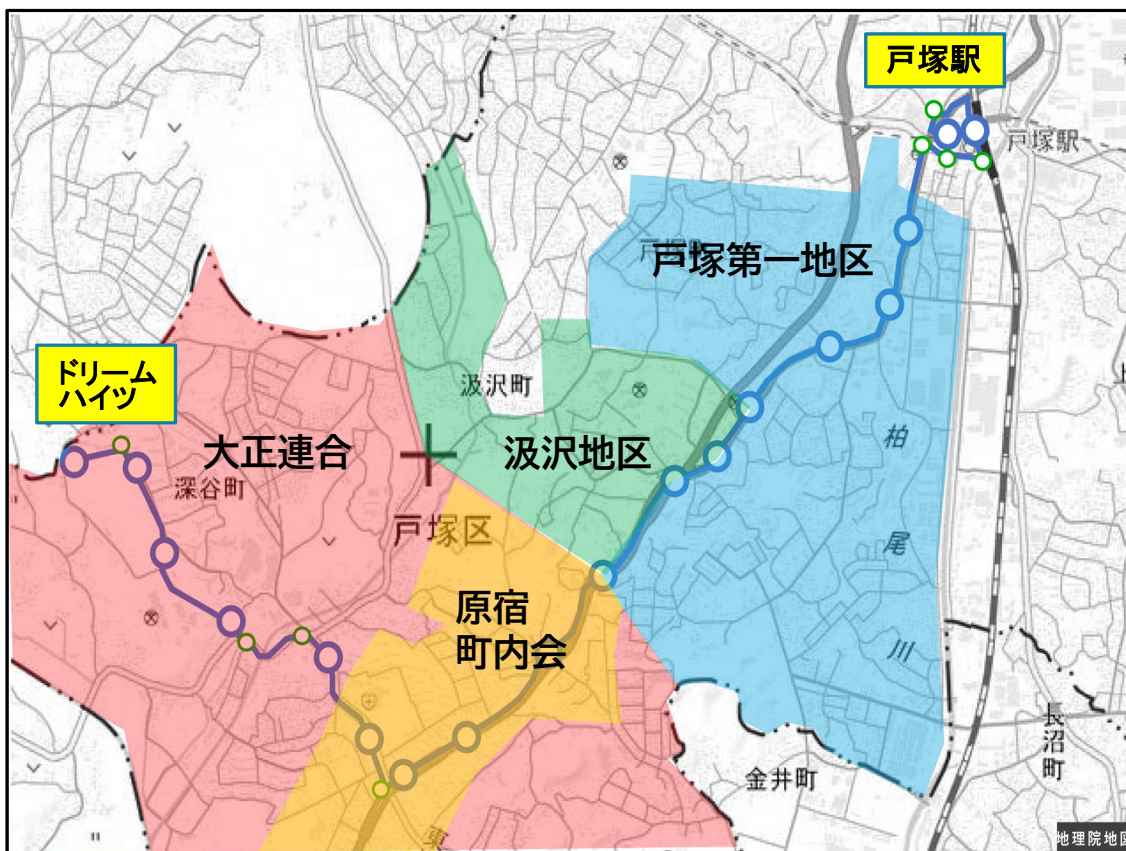
→大正連合町内会へ、引き続き説明を実施

役員会・定例会（7月、11月、3月（予定））、広報紙回覧（3号（7月）、4号（4月予定））

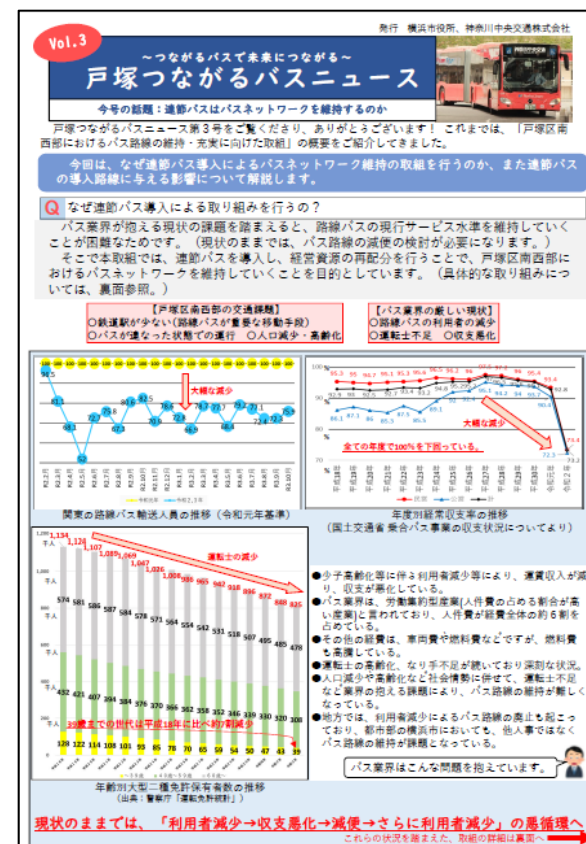
→新たに、戸塚第一地区連合町内会、汲沢地区連合町内会、原宿町内会へ事業説明

汲沢地区懇談会（8月）、戸塚第一、汲沢連長個別説明（9月）、原宿定例会（2月）

広報紙回覧（1～3号まとめ版（戸塚第一、汲沢へ9月）、4号（4月予定））



【広報を拡大した地域】



【回覧した広報紙】

③今後の進め方

■工事

- ・令和5年度夏頃から順次工事を実施

■ダイヤの公表

- ・令和5年秋～冬ごろに広報紙等で、ダイヤ案について地域に説明予定

■地域との調整

- ・乗降方法、乗継割引、工事概要等について順次、広報紙により周知
- ・工事開始やダイヤ案などについて引き続き丁寧に説明を行う

■次回

- ・事業計画（ダイヤ案等）についてご説明

